

神社の杜(二十五)

御岳山カエル事情

御岳ビジターセンター 片柳 茂生

御岳山に水道が引けたのが昭和十六年。当然のことながら、それ以前は井戸水を生活用水として使っていました。御岳山には井戸が四ヶ所あり、その中の御供所の井戸と下戸の井戸が今でも水を湛えています。しかし井戸本来の目的は失われ、水中ではオタマジャクシやヤゴが生活し、水面をアメンボが滑ると言うのどかな風景となっています。おや、その井戸の中でヤマアカガエルのオタマジャクシが何やらしゃべってますよ。

うさぶ！やっぱり二月の水は冷たいね、この時期は落ち葉の下でじっとしているにかぎるね。でもまあ元々井戸だから川の水に比べりゃあったかい方だね。おや何やらあたりが騒がしいね、何が始まったんだい。ありゃー、ヤマアカガエルが卵を産み出したよ。

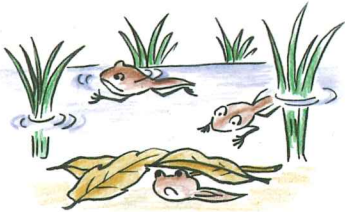


イラスト 井口三月

おいらもよ、みんなと一緒に卵からはかえったんだ、だけれどほかのやつらが尻尾に沿ってだんだん後ろ足が伸びてきてても、おいらにはまだ足の「あ」の字も出る気配がなかったね。後ろ足が尻尾から離れてカエルのような格好になって、しばらくしてから前足が出てくんだけだよ、

山からの贈り物



イラスト 神田忠良

日本各地の山野に自生し、味も栄養も優れた自然薯。漢方では山薬といわれ滋養豊富で、消化も良く美容食ともいわれています。右巻きのものにハート型の葉で、秋に黄色く色づく頃から食べ頃ですが、掘るのが

どいつを見ても左から出るんだよな、右から出たっておかしきはねえと思うんだけどな。しかも肘から出しやがる、ポンッ！てな感じで突然出るからおもしろいね。みんなだんだんカエルになって井戸から出て行くのに、おいらにはまだ足が生えねえ、しかたねえからこのまま冬を越しちまおうってんで今いるんだな。今年こそカエルに絶対なってるからな、見てろよ！

大変でなかなか手に入りません。また、より美味しいのはつるが枯れてからで、麦の種をまき目印にして、冬に掘るところもあります。ひげ根を火であぶって取り、皮ごとすり下ろして食べると、風味豊かに味わえます。また、実のムカゴも独特の風味で珍重されます。しかし、御岳の奥では近年イノシシが、自然薯を掘ってきれいに食べてしまいます。動物にとっても自然の栄養をたっぷり蓄えた自然薯は、大切な山からの贈り物のようです。 片柳至弘

あとがき

酉年式年大祭には多くの方々のご参拝を戴き、盛大に執行されました事を厚く御礼申し上げます。また、ここで新宮司の就任、神職の部署も異動があり、新たなスタートをいたします。今後とも皆様方の暖かいご支援をお願い申し上げます。青梅市 荒田講中・講元木村功様、齋藤慎一先生には玉稿を賜りありがとうございました。

平成十七年九月二十九日発行  
〔年二回発行・非売品〕  
編集 武蔵御嶽神社  
TEL(0426)77-8500  
FAX(0426)77-9101  
印刷 ㈱成和印刷